

人とながつながり安心して暮らせる福祉のまちづくり

社協だより

* かがやき *

第96号

令和8年2月1日
発行



第16回甲斐市社会福祉のつどい



社協のつどい 富士幼稚園書道パフォーマンスのようす

- 第16回甲斐市社会福祉のつどい…………… P2~4
- 災害ボランティアセンター設置運営訓練…………… P5
- 地域のささえ合い活動/ちよこっとささえ隊ボランティア募集…………… P6
- あった甲斐マルシェ/配食サービスボランティア募集…………… P7
- 冬休み子ども食料支援/寄付者の紹介…………… P8



「第16回甲斐市社会福祉のつどい」

11月29日(土)に「第16回甲斐市社会福祉のつどい」を開催し、多くの方にご参加いただきました。詳しくは2~4ページをご覧ください。



社会福祉法人
甲斐市社会福祉協議会
<https://kaishakyo.or.jp>



〒400-0123
山梨県甲斐市島上条 3163 敷島保健福祉センター内
TEL.055-277-1122 FAX.055-277-1284

甲斐市社会福祉のつどい を開催しました

11月29日(土)敷島総合文化会館において「第16回甲斐市社会福祉のつどい」を開催しました。

長年にわたり地域福祉に貢献のあった本会役員をはじめ、民生委員児童委員、ボランティア功労者等の皆さまの功績に対し、表彰状及び感謝状の贈呈を行いました。また、福祉ポスターの入選者の表彰を行い、最優秀・優秀受賞の6名に作品に込めた想いを発表してもらいました。

来賓として、保坂武市長、秋山照雄市議会議長及び県共同募金会細田孝常務理事からご祝辞をいただきました。

式典終了後の公演では、ボランティア団体オウ・デ・ヌウによる演奏、富士幼稚園園児による合唱と書道パフォーマンスがありました。

また、閉会後のイベントとしてオリジナルグッズが全員に当たる抽選会や福祉ポスター撮影会、赤い羽根共同募金特設ブースを開設し、来場された皆さまに楽しんでいただきました。



公演「オウ・デ・ヌウ」「富士幼稚園」

初めに、ボランティア団体オウ・デ・ヌウによる演奏発表が行われました。

「First Love」「人生のメリーゴーランド」「情熱大陸」「みずいろの雨」の4曲が披露され、会場のお客様も手拍子で参加し、一体感のある大変盛り上がったステージとなりました。

続いて、富士幼稚園園児による合唱と書道パフォーマンスが披露されました。

全園児による合唱では、「小さな世界」「あらどこだ」の2曲を元気いっぱいに歌いあげ、会場を明るい雰囲気包みました。

書道パフォーマンスでは、「世界が一つになるまで」をテーマに、年長児9名が大きな紙に力強く筆を運びました。作品が完成し客席に向かって掲げると、会場から大きな拍手が起こりました。



オウ・デ・ヌウ



富士幼稚園



閉会後のイベント

閉会後、会場ではやはいぬと社協のコラボグッズが当たるお楽しみ抽選会や福祉ポスター受賞者の写真撮影会、赤い羽根共同募金特設ブースを設置し、参加された皆さまに楽しんでいただきました。



お楽しみ抽選会の様子



特賞が当たりました!



福祉ポスター写真撮影会



共同募金特設ブース

甲斐市社会福祉協議会 会長表彰・感謝状 (順不同・敬称略)

会長表彰

【本会役員等功労】	安達伸太郎	大森 良子	小林 美咲		
【民生委員・児童委員功労】	相川 徳男	秋山 太一	芦澤 浄	伊藤てる美	宇野 哲夫
	乙黒 弥生	金丸裕見子	小林 久美	近 幸子	齊藤 君子
	酒井 永子	坂下いずみ	佐々木 嘉	高橋 幸子	立澤 妙子
	田辺 光正	中島 雅子	長谷川咲代	樋川千津留	保坂 恵子
	松本 英正	宮坂 秀次			
【ボランティア功労(個人)】	米山 和子				

感謝状

【金品寄付(個人)】	三枝やよい	深澤 圭子	古屋 明美
------------	-------	-------	-------

福祉ポスター入選者表彰 (順不同・敬称略)

【最優秀賞】	石田 陽登				
【優秀賞】	今井 咲里	小林 篤史	佐藤 笑里	清水いろは	山本 美咲
【佳作】	天野 清愛	荒井 優芽	磯部由輝也	枝松 結月	大内 葉月
	栗原 宗大	桑原野々香	駒井 康汰	小宮山大晴	斎藤 心晴
	清水 湛馬	杉山 綾	手塚 千晴	直井 結希	中嶋のどか
	萩原 徳大	樋口 莉央	日本 瑞生	堀ノ内暖斗	丸茂諒太郎
	三橋みのり	迎 奏太	両角 優空	八巻 璃空	山田 夏凜
					小田切 杏
					佐藤 結菜
					長湯 咲那
					丸山 杏
					山本 瑛士

災害ボランティアセンター 設置運営訓練を実施しました！

災害ボランティアセンターとは、災害時に設置される被災地でのボランティア活動を円滑に進めるための拠点です。被災者の困りごとを受け止め、県内外から来る多くのボランティアを安全かつ円滑に被災者のもとへ結びつける役割を担っています。

11月15日に、敷島保健福祉センターにて社協職員と災害ボランティア協力員で災害ボランティアセンター設置運営訓練を実施しましたので、その様子を報告します。

災害ボランティアセンター設置運営訓練

今年度は新たにQRコード受付や、スマートフォンで活動先の地図の読み込みなど、ICT活用も取り入れた訓練となっています。

また、災害ボランティア役として市職員や市議会議員、県内市町村社協職員、市内ボランティア団体の皆さまに参加していただき、体験後は、災害ボランティアに関する動画視聴や説明を受け、理解を深めました。



講習・動画視聴



QRコード受付



QRで地図の読み込み



活動後の報告

住民の皆さんに知っておいてほしいこと

被災者が助けてほしいと声をあげることはとても大変なことです。普段の生活も災害時も共通して言えることですが、困りごとはすぐに言葉にできず、当事者以外には分かりにくいです。

災害時にセンターを立ち上げても住民の方から困りごとが上ってこなければ、ボランティアと地域の困りごとをつなぐことはできません。皆さんが持っている地域の情報や知識はとても重要なものです。災害ボランティアと聞くと若い人や力のある人しか活動できないと感じてしまうかもしれませんが、皆さんの持っている情報をセンターにつなぐことも重要な活動の一つです。

災害ボランティア協力員募集

平常時から活動していただける災害ボランティア協力員登録者を募集しています。いつ起こるか分からない災害に備えて、多くの皆さまのご協力をよろしくお願いします。

問い合わせ先 甲斐市社会福祉協議会 福祉総務係 TEL 055-277-1122

令和7年度 福祉ポスター優秀作品

「人と人がつながり安心して暮らせる福祉のまちづくり」をテーマに、市内の小学4～6年生を対象に福祉ポスターを募集しました。509点の作品が寄せられ、厳正な審査の結果36点の入選作品が選ばれました。最優秀賞・優秀賞を受賞された作品をご紹介します。



石田 陽登(敷島小)

選考委員の講評

本年度の最優秀作品は「福祉の目と芽を育てよう」という文案をテーマに、「種からの成長」を順に表現されています。太陽や雲などからも暖かい微笑みを感じられ、福祉の大樹に育つ過程や、切り株にも青い鳥や四つ葉のクローバーを描くことで、みんなの幸せと、心を育てることが表現されています。特に、木の中心にはハートで「支え愛」、その周りに多様な福祉のマークを描き「地域の支え合う力」、「ふれあい支え合う気持ち」という募集テーマも強調された素晴らしい作品です。

また、優秀作品5点も描画力に優れ、細部まで丁寧に仕上げられ、文案の工夫や、図案の工夫、色合いの工夫がみられます。ポスターは少し離れたところで見るときに、伝えたい内容が明確になることは大切な要素です。「こうなったら良いな」、「こんな未来にしていきたいな」という気持ちにあふれ、訴える強さがあるインパクトのある作品でした。

未来を担う小学生にとって、こうした作品づくりに向かい、福祉への理解を深め、福祉に対する意識の高揚や、社会福祉全般を考える良い機会となったのではないのでしょうか。今後も、自らの実践を通してあたたかい町づくりに貢献できる人になることを願っています。



今井 咲里(敷島小)



小林 篤史(竜王南小)



佐藤 笑里(敷島南小)

入選作品36点を、社協ホームページで見ることができます。

子どもたちの気持ちのこもった作品をぜひご覧ください。



福祉ポスター専用閲覧ページへは、スマートフォンで上記のQRコードを読み取ってください



清水 いろは(敷島小)



山本 美咲(竜王西小)

あった甲斐♡マルシェ & あった甲斐♡相談会 in LAZAWALKを開催しました

障がい者週間(12月3日～9日)に合わせて、障がいのある方に対する理解を深めるために、12月6日(土)ラザウォーク甲斐双葉にて、あった甲斐♡マルシェ&あった甲斐♡相談会 in LAZAWALKを開催しました。

あった甲斐♡マルシェでは、甲斐市内の障がい者就労支援事業所の皆さんが作られた、お菓子や雑貨を販売しました。大勢の方に商品を手に取っていただき、ご好評の声を多くいただきました。



出展者の声: マルシェ当日は事業所の利用者さんも積極的に接客をしてくれて、お客様とお話ししながら楽しく一日を過ごすことができました。



マルシェの一角で、障がいの理解に関するクイズ、共同募金ブース、市内障がい福祉事業所や当事者団体、相談窓口のパンフレットブースも設置させていただきました。

また、普段多くのお客様の接客対応をされているラザウォーク甲斐双葉の従業員さんから個別で相談を受ける、あった甲斐♡相談会を同日開催しました。

甲斐市障がい者基幹相談支援センターでは、障がいがある・ないに関係なく誰もが安心・快適に生活ができるように、地域の皆さんと一緒に理解を深める活動を今後も実施していきたいと考えています。

急募! 配食サービス(配達・調理)ボランティア大募集!!

甲斐市社協では、市内の高齢者の見守りや安否確認を目的に夕食のお弁当を届ける「配食サービス」を行っています。お弁当の配達や調理のボランティア活動をしてみませんか?

配達ボランティア

活動内容.....
お弁当の配達・安否確認を行うボランティア

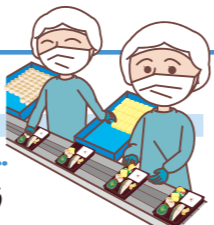
活動時間 午後3時～5時頃



調理ボランティア

活動内容.....
お弁当の調理・盛り付けを行うボランティア

活動時間 午後1時～3時



■問い合わせ先 甲斐市社会福祉協議会 生活支援係 TEL 055(277)1122

住民同士の地域づくり

地域のささえ合い活動

～ サポーター養成講座を開催しました～

テーマ「他人事ではなく、自分事として捉えていくために」
VRゴーグルをつけて、認知症当事者の視点で幻覚症状とその恐怖感などを体験しました。



認知症を自分事として考えるきっかけになりました。
VR体験を通じ地域で何ができるか改めて考えさせられました。



グループホーム愛の家 甲斐長塚施設長 中込 暢様にご協力いただきました。



メディカル・ケアサービス(株) 講師 杉澤 拓実様にご講義いただきました。

ちょこっと ささえ隊 ボランティア 募集

どなたでも大歓迎!

内容

一人暮らしの高齢者等が日常生活で困ったことがあった時、お手伝いへ行ってもらいます。お手伝いとは、専門的な技術を必要とせず、30分以内のできる簡易作業です。

日時

月曜～金曜 午前9時～午後4時の間(土日祝日、年末年始を除く)
※依頼者とボランティアの都合が合う日時を調整します。

空いている時間にボランティア活動してみませんか??



ささかつしよう

さえられよう



さえよう



かつどうしよう

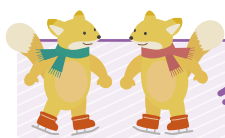


ながろう



甲斐市社協では、住み慣れた地域で安心して生活できるよう住民同士がささえ合う活動を推進しています。

■問い合わせ先 甲斐市社会福祉協議会 福祉総務係 TEL 055(277)1122



令和7年 冬休み子ども食料支援



12月9日～12日の期間、児童扶養手当受給世帯を対象に冬休み子ども食料支援を実施しました。食料の他、日用品等もお渡ししました。

このような社協の活動は皆さまの善意によって成り立っています。また、食料・お米・日用品は、生活困窮者支援にも役立っています。

引き続き食料などの寄付のご支援をよろしくお願いいたします。



ボランティアによる袋詰めの様子



食料支援の様子



ご協力ありがとうございました



寄付者の紹介

令和7年10月1日～12月31日（順不同・敬称略）

現金

中山 晋 100,000円(法人事業のために)、三枝やよい 100,000円(法人事業のために)、
大西 花代 10,000円(法人事業のために)

個人

網藏 利子、岩田 きみ江、鰻池 昇、宇橋 純子、大久保 達也、大西 花代、
笠井 翔銘、河野 太一、小林 英記、中込 寿之、中村 こはる、難波 正枝、
望月 圭子、矢島 健、柳本 貢一（粳米13袋）

食料など

企業

生活協同組合ユーコープ若草センター、CornerPocket(八ヶ岳の手作りパン屋)、
双葉農の駅、とみや、(株)はくばく、(株)テンヨ武田、八雲製菓(株)、
(一社)災害防止研究所・(株)グリーンデザイン&コンサルティング

団体等

甲斐市職員有志一同、ユースフルスペース、甲斐市商工会女性部、甲斐国際交流協会、
山梨県(県が実施する冬休み期間中の食料支援として食料寄付をいただいた)

その他、市内外12カ所の寄付箱や匿名で寄付をいただきました。

食料支援協力企業



(株)はくばく



(株)テンヨ武田



八雲製菓(株)

ご協力いただいた皆さまありがとうございました。

この広報誌の一部は、赤い羽根共同募金の配分金より発行されています。